

住まいにおいて、ヒヤッとした、危ない経験をした人は、約6割。

～「廊下・階段」「浴室」「キッチン」が危険～

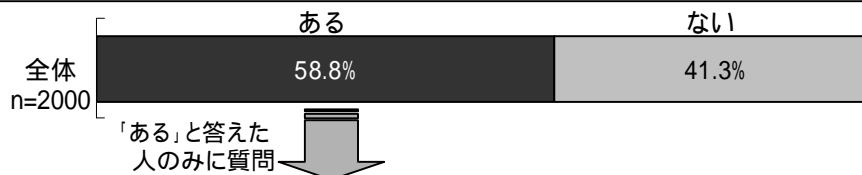
株式会社かんでんCSフォーラム(本社:大阪市中央区、取締役社長:北尾伸二)では、自主調査『お住まいにおける危険に関するアンケート』を実施した。(2010年7月26日～8月2日)
この調査において、全国の男女2000人に、「ご自分やご家族が、現在のお住まいで、ヒヤッとした危ない思いや、実際に怪我をした経験はありますか?」という質問をしたところ、「ある」と答えた人が58.8%という結果となった。

ヒヤッとした、危ない経験をした場所としては、「廊下・階段」「浴室」「キッチン」という回答が多く挙がっている。さらに、内容を聞くと、廊下・階段・浴室では、「滑った・転んだ」などが多数挙がっており、中には骨折やヒビが入る程の大怪我をした人もいる。

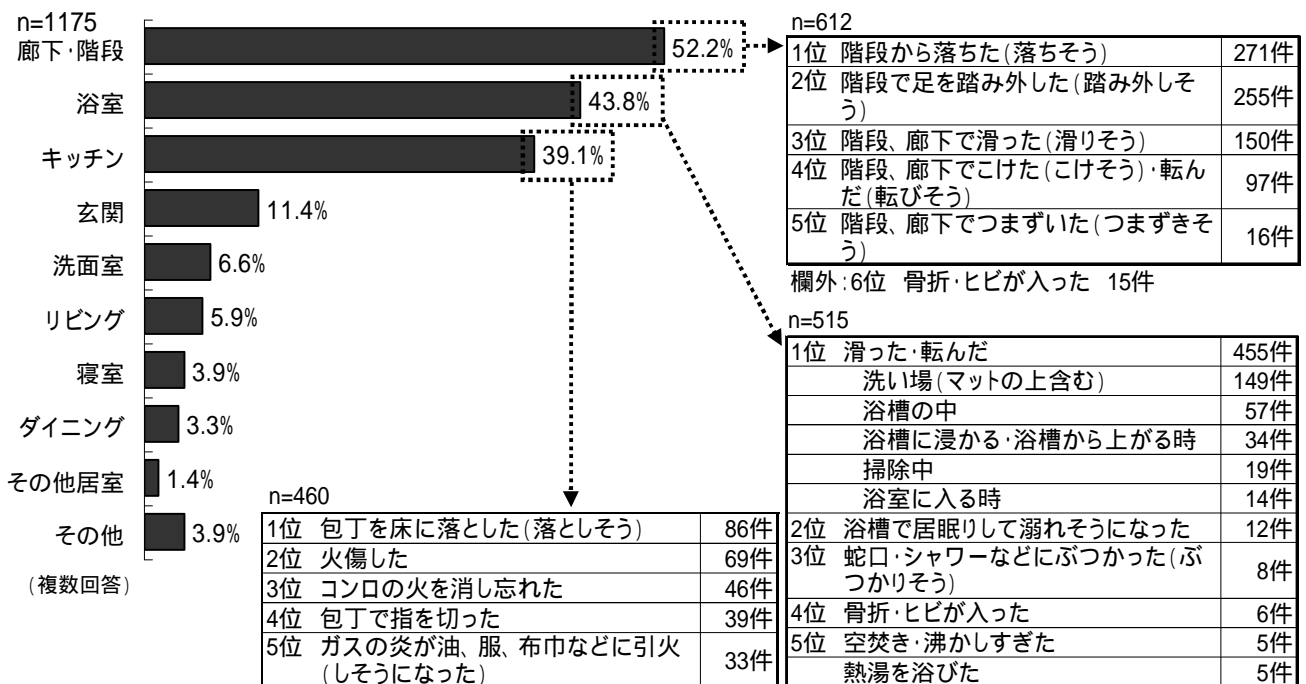
一方、キッチンについては、「火傷」や「火を消し忘れた」「炎が服や布巾に引火(しそうになった)」など、火関係の危険や包丁関係の危険が多く挙がっている。家にいながら、さまざまな危険があるようだ。

< 回答者:かんでんCSフォーラム「生活者モニター」(全国2000人) >

～現在のお住まいで、ヒヤッとした危ない思いや、実際に怪我をした経験はありますか?～



～ヒヤッとした、危ない経験をした場所は?～



* 上記ベスト5は、自由回答をまとめたものだが、1サンプルにつき、複数項目の記述があった場合、その分カウントしている。

その他、年代別の結果、調査に関する詳細などについても、ご興味があれば是非お問い合わせください。

よろしければ、記事にお使い下さい。(その際には下記問合せ先までご一報ください)
その他、本調査に関する詳細などについても、ご遠慮なくお問い合わせください。

< 問合せ先 > 株式会社かんでんCSフォーラム マーケティング事業部 担当: 中村、水野
TEL: 06 - 6121 - 7688 FAX: 06 - 6282 - 6300 メールアドレス marketing@kcsf.co.jp